

令和7年度予算編成の基本的な考え方

1 現状の分析

- 安定した財政運営
- 市税収入は、7年連続で約100億円と安定して推移している
 - 今後見込まれる財政需要に向け、基金の積立は順調に進んでいる
 - 令和4年度 令和5年度
 - ◇財政調整基金（標準財政規模の14.7% → 14.4%）
 - ◇公共施設保全基金（公共施設の再編・大規模改修に向けて積立）
 - 骨太の方針では、地方一般財源総額は令和6年度地方財政計画と同水準が確保される見込み

- 財政運営上の考慮すべき事項
- 鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくり・学校再編を見据えた鶴ヶ島中学校の大規模改修や、インフラの長寿命化など、投資的経費の増加が見込まれる
 - 物価高や賃上げ、金利の上昇などの影響により、経常的経費の増加が見込まれる
 - 骨太の方針に関して、令和8年度以降の地方一般財源総額については国の動向を注視する必要がある

2 予算編成方針

